



『人びとのなかの冷戦世界: 想像が現実となるとき』

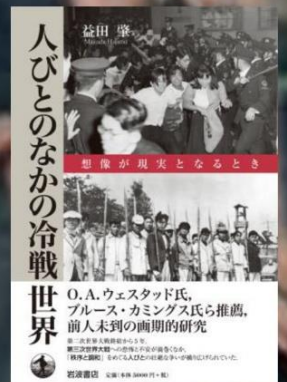
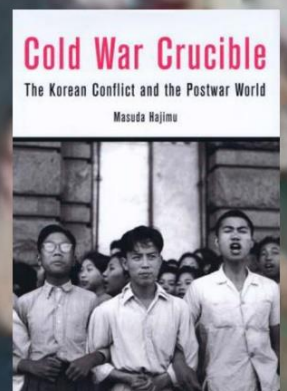
益田肇 シンガポール国立大学 (ブック・トーク)

Masuda Hajimu, National University of Singapore

鄭祐宗 同志社大学 (コメント)

Jong Ujong, Doshisha University

冷戦とは何だったのか。現実はどうのように想像され、その想像はどうのように新しい現実をつくり出したのか。大国間の駆け引きや政治指導者を主人公とする従来の冷戦史とは一線を画し、本書は、無数の名もなき人びとの日常的な想像、その行為の連鎖、そして現実政治の影響関係から、冷戦初期の歴史を描きなおす試みである。そのため社会史と外交史、ローカル史とグローバル史を総合的に組み上げ、米国、中国、日本など世界各地で起きたことの同時性と類似性、関連性を探りながら、冷戦世界を理解しなおすための新しい見方を提示した。このブック・トークでは、本書がどのように始まり、発展していったか、また近年どのような新たな研究を生み出してきたかを紹介する。



Time November 29, 2021 17:00 – 18:30 (JST)

Place Online with ZOOM (Registration required)



The book talk, comments, and following discussion will be conducted using both English and Japanese.

This event will be held without simultaneous interpretation.

Please register by 13:00 on November 27.